

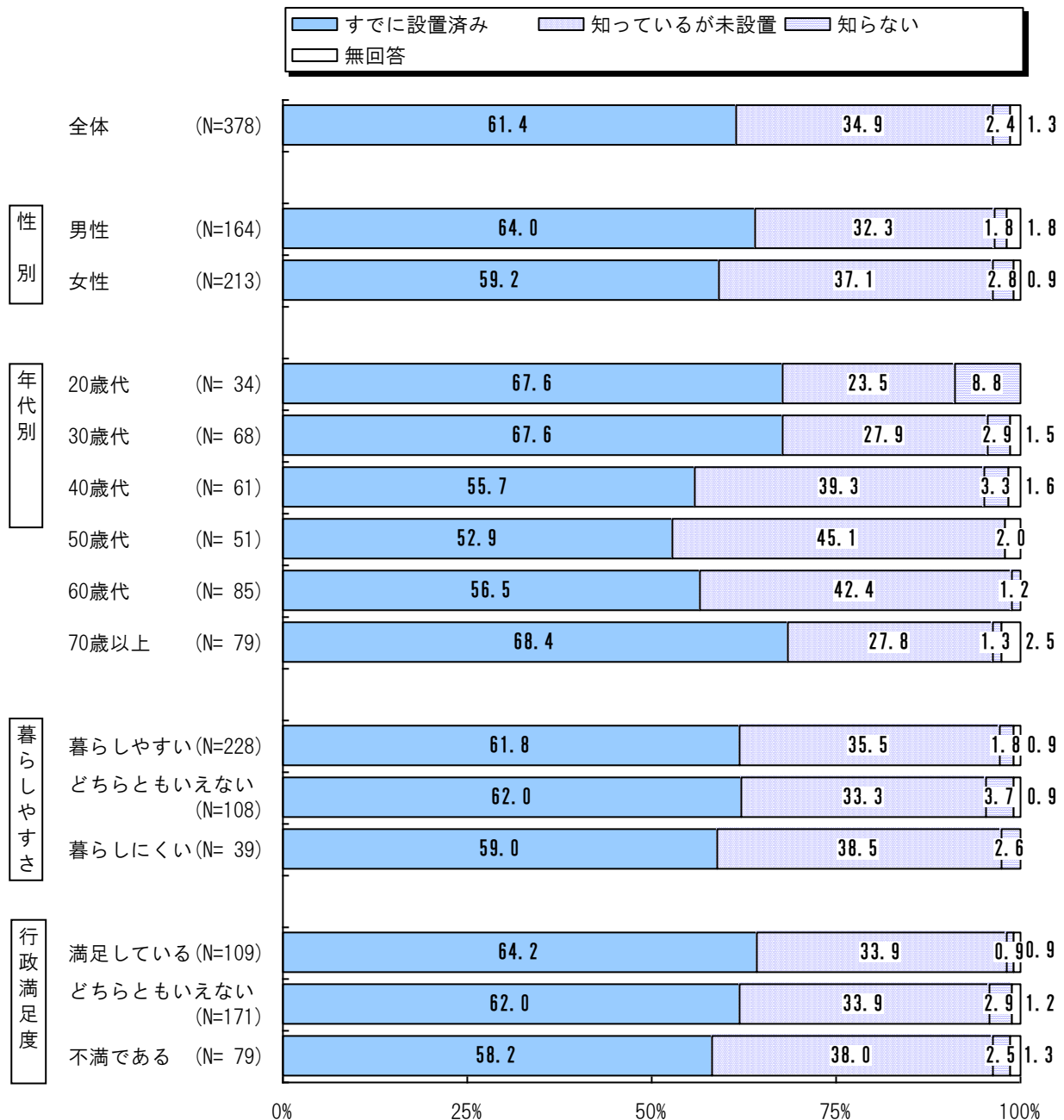
13 住宅用火災警報器の設置義務の認知状況

問13 あなたは、住宅用火災警報器の設置が義務付けられていることをご存知ですか。

(〇はひとつ)

住宅用火災警報器の設置義務の認知状況は、「すでに設置済み」61.4%が最も多く、「知っているが未設置」34.9%とあわせた『知っている』は96.3%と9割を超えている。一方で、「知らない」は2.4%とごく少数になっている。

年代別では“20歳代”で「知らない」が他の年代に比べて多くなっている。

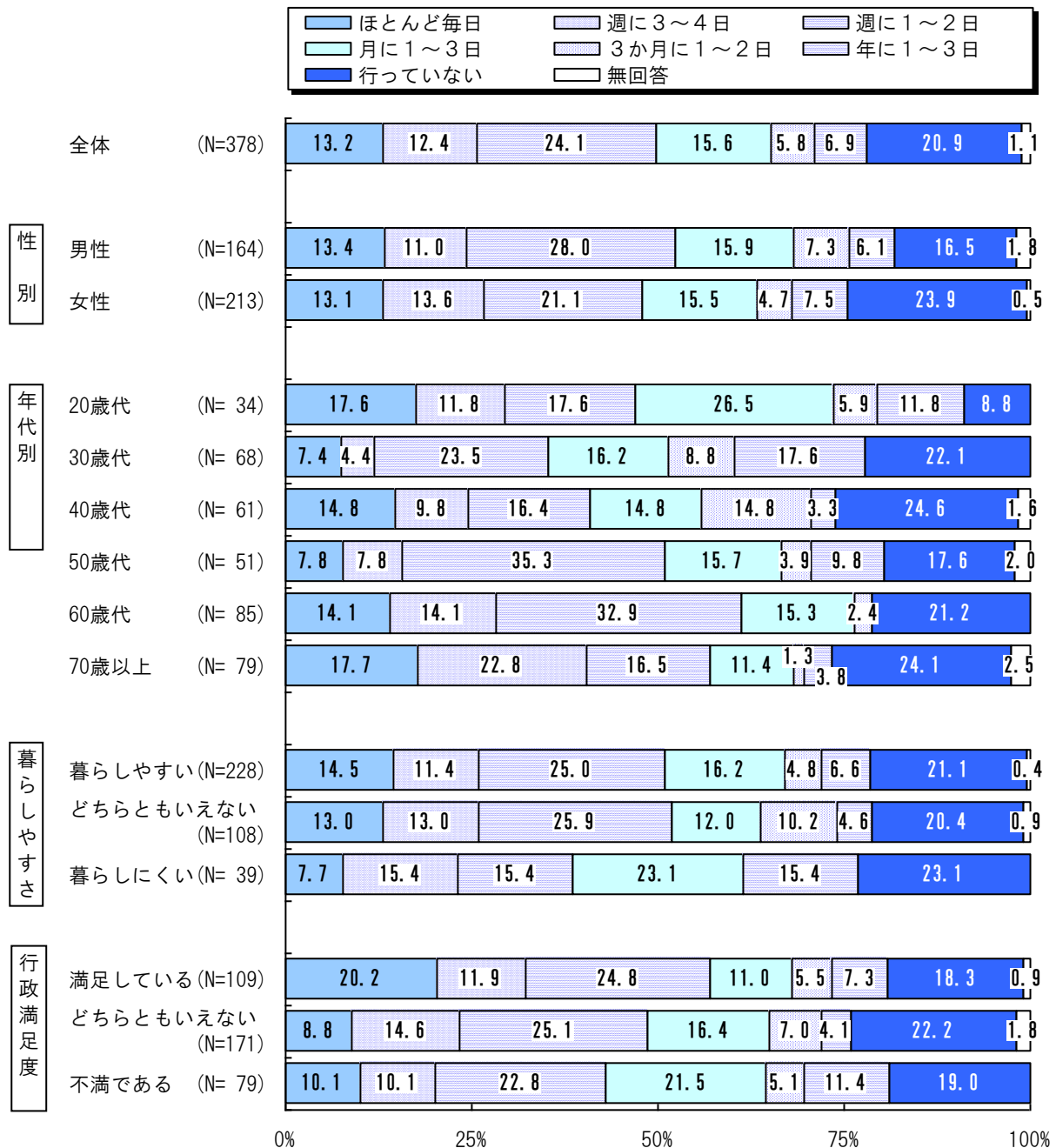


14 運動を行った頻度

問14 あなたは、この1年間に運動・スポーツ（ウォーキングや散歩といった軽い運動を含む）を何日ぐらい行いましたか。（〇はひとつ）

運動を行った頻度は、「週に1～2日」24.1%が最も多く、次いで「月に1～3日」15.6%、「ほとんど毎日」13.2%、「週に3～4日」12.4%、「年に1～3日」6.9%、「3か月に1～2日」5.8%となっており、これらを合わせた『行った』は78.0%となっている。一方、「行っていない」は20.9%となっている。

性別では“女性”、年代別では“40歳代”と“70歳以上”で「行っていない」が多くなっている。



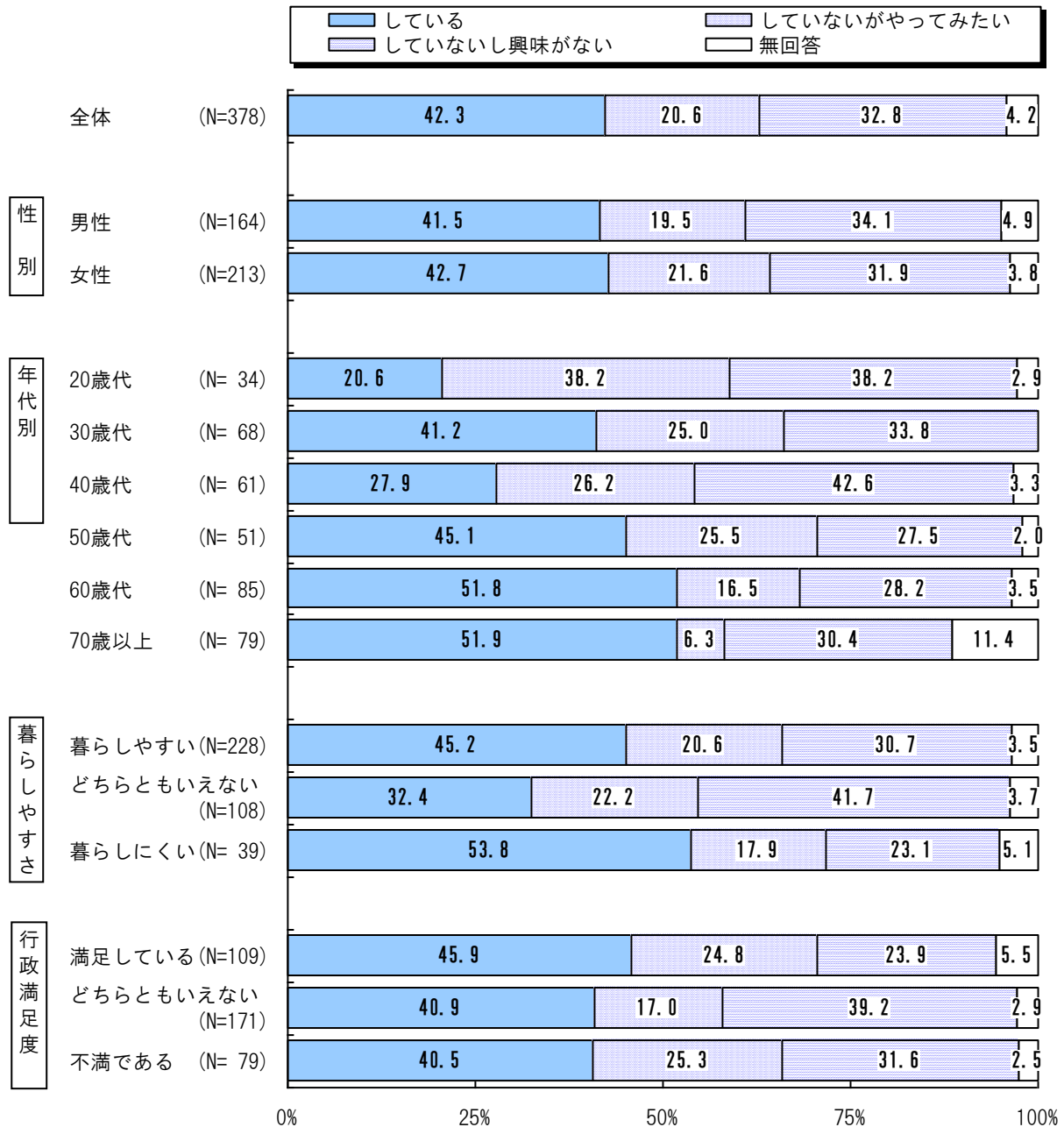
15 農業・野菜づくりの経験

問15 あなたは、農業もしくは野菜づくりをしていますか。(〇はひとつ)

農業・野菜づくりの経験は、「している」42.3%が最も多くなっており、次いで「していないし興味がない」32.8%、「していないがやってみたい」20.6%となっている。

年代別では“60歳代”以上で「している」が半数を超えている。

行政満足度別では、満足度が高いほど「している」が多くなっている。



16 農業・野菜づくりについて知りたい情報

問15で「していないがやってみたい」と回答した方

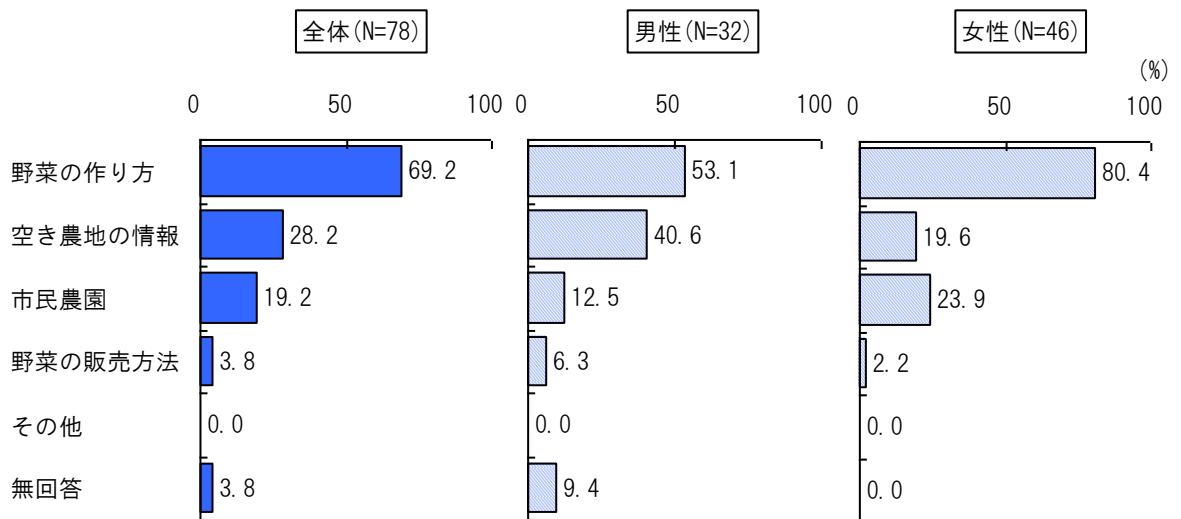
知りたい情報は何ですか。該当するものに○をしてください。(○は2つまで)

農業・野菜づくりについて知りたい情報は、「野菜の作り方」69.2%が最も多く、次いで「空き農地の情報」28.2%、「市民農園」19.2%などとなっている。

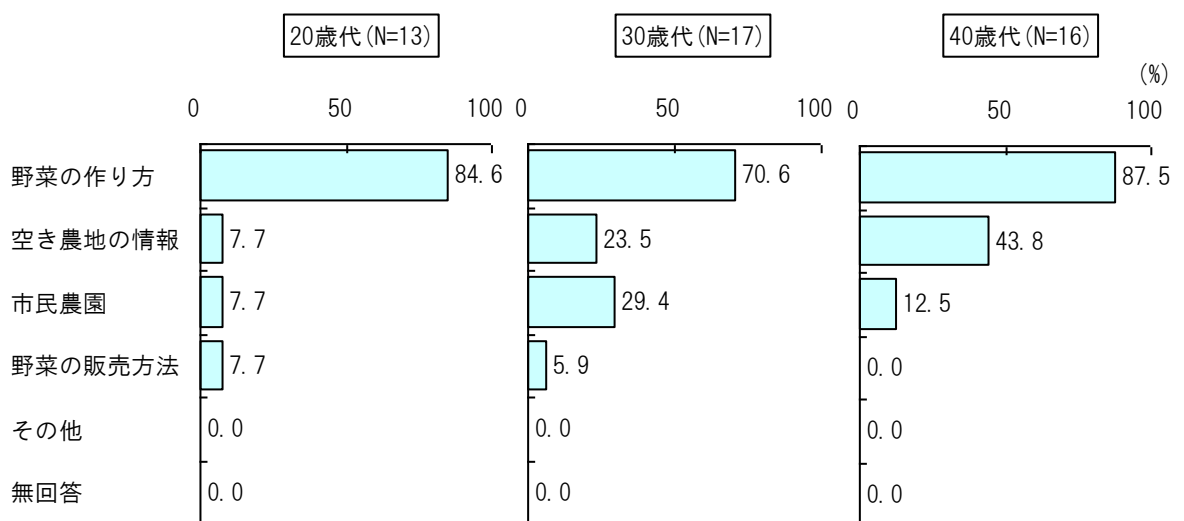
性別では、“女性”は「野菜の作り方」80.4%や「市民農園」23.9%が“男性”よりも多くなっている。

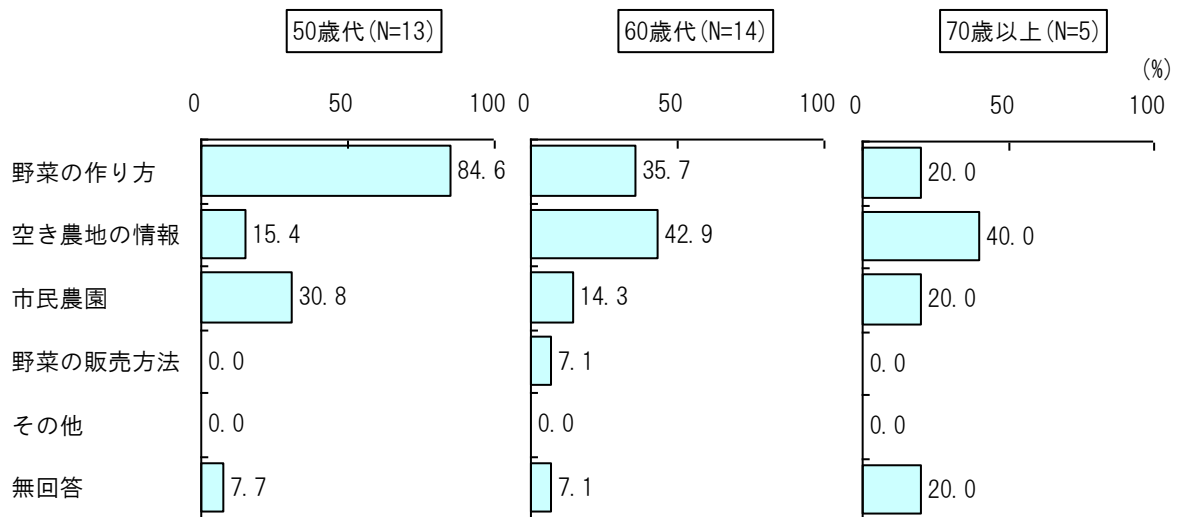
年代別では、“20歳代”から“50歳代”は「野菜の作り方」が多く、“60歳代”以上は「空き農地の情報」が多くなっている。

< 性 別 >

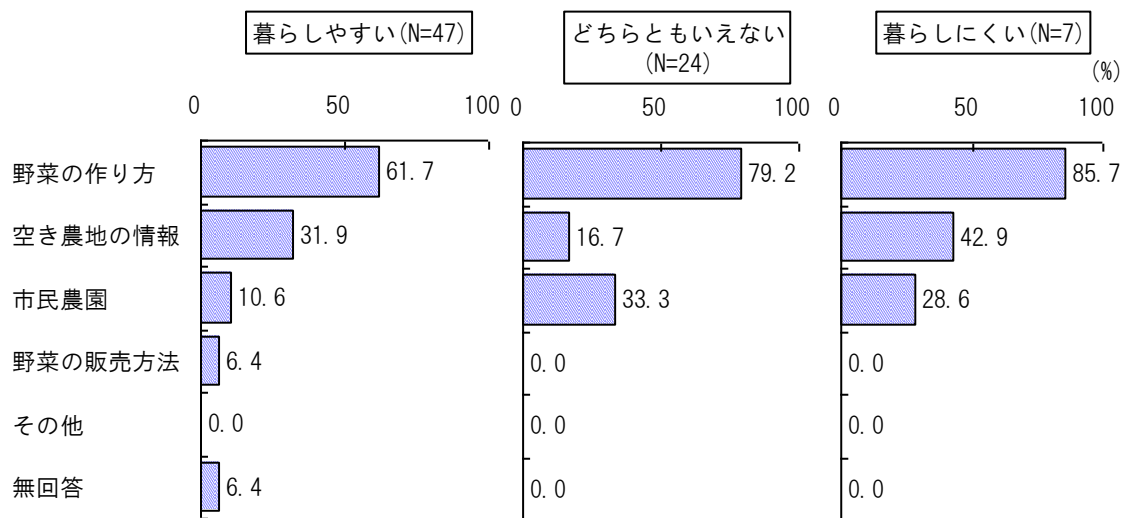


< 年 代 >

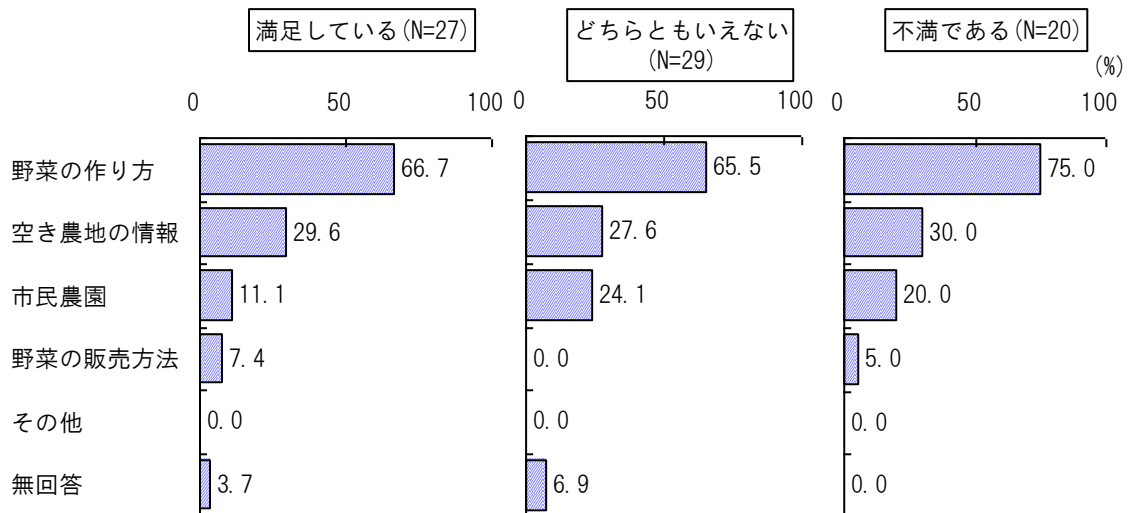




< 暮らしやすさ >



< 行政満足度 >



17 自慢できる観光資源

問16 岡谷市では「ものづくり」など体験型の新たな観光振興に取り組んでおり、来年秋には全国産業観光フォーラムの開催を予定しています。県内外の皆さんに観てほしいもの・味わってほしいもの・体験してほしいものなど地域で自慢できる観光資源がありましたら記入してください。身近で素朴な岡谷の魅力をPRしていきます。

- ・ 出早公園の紅葉。常現寺沢のつつじ（個人のものですが）。
- ・ 出早公園はカタクリ（春）、キツネノカミソリ（夏）、もみじ（秋）などをいつも見に行きますがとてもすばらしいと思う。春の桜もきれいです。
- ・ 横河川の桜。
- ・ やまびこ公園ラベンダー、横河川の桜並木。
- ・ 諏訪湖の周辺、鶴峯公園のつつじ、塩嶺峠の夜景。
- ・ 早朝や夜景と噴水の見える諏訪湖。
- ・ 横河川の桜。木のメンテナンスをしっかりとしてほしい。アメシロの駆除など。
- ・ 横河川岸辺の桜や紅葉と水門（天竜川の源流）。
- ・ 塩嶺方面からの諏訪湖の夜景。湊、塩嶺のキャンプ地。横河川上流。
- ・ 塩嶺の紅葉。
- ・ 山、川、湖等の自然。夏涼しい。※ものづくりはパツとしない。
- ・ 常現寺沢のつつじ、鉢伏山および横河川上流のトレッキング。
- ・ 横河川の桜。
- ・ 鶴峯のつつじ。
- ・ 岡谷市の湖畔はすばらしい。風景は本当に自慢できる。また、天竜川の源である諏訪湖のすばらしさをもっと全国に伝えたい。生糸のすばらしさをもっと大きな建物の中で伝えてほしい。
- ・ 諏訪湖のつり、マレットゴルフ、塩嶺閣の野鳥観察。
- ・ 昔からあるこの土地の料理（寒天、わかさぎ、川えび等）。塩嶺御野立公園のキャンプ場、学生の合宿利用。
- ・ 諏訪湖のわかさぎ。
- ・ 諏訪湖のわかさぎ釣り、白鳥。やまびこ公園。
- ・ やまびこ公園からの眺望（富士山、八ヶ岳、諏訪湖など）。樋沢のもろこし。
- ・ 機織りやその体験、うなぎの様々な料理など、まずは、市民がもっと身近に感じられるようになることも重要だと思います。
- ・ かいこ。
- ・ シルクでドレスなどを作る。高級ブランドなどとコラボレーションする。
- ・ 蚕糸が有名なので、まゆから糸を取る体験や機織りなど。うなぎのまち岡谷なので、もっとうなぎのおいしさをPRしてほしい。イルフ童画館の企画は素晴らしいので、もっと宣伝してほしい。おいしいお店紹介のイラスト入りマップを作ってみたらどうでしょうか。あるき太郎とあわせて、若い人をひきつけるようなお店紹介を作ったら地元の人ももっとまちへ出掛けると思います。カノラホールもいい催し物をやっている（ホールも素晴らしい。）、地元の人だけでなく、他の地域の方も来てもらえるように宣伝してほしい。
- ・ 蚕関係（まゆちゃん工房など）、横河川の桜、農業や花づくりなどの体験など年間を通じて何度も足を向けてもらうのいいと思います。
- ・ 蚕やシルクの原点をもっとくわしく発信すると良い。
- ・ 諏訪湖でのわかさぎ釣り、蚕糸博物館での糸とり体験。

- ・ 蚕の蛹の佃煮。
- ・ 生糸（製糸業）の機械など。
- ・ 絹、織り物（はたおり）。
- ・ うなぎ。
- ・ 鯉料理などの地元の食材。都会から来ている海の魚や刺身などは望んでいません。
- ・ 小鳥バス、うなぎ。
- ・ 岡谷のうなぎ本当においしいと思います。毎年必ず食べています。たくさんの人に食べてほしいです。
- ・ うなぎや川魚料理。
- ・ うなぎ⇒市で養殖する。これが本当のうなぎのまち。
- ・ うなぎ、わかさぎ。
- ・ うなぎ、やまびこ公園、まゆ人形。
- ・ うなぎのかば焼き以外の料理を教えてください。うなぎのまちだからと言って市内一斉で定休日を設けるのではなく営業している店を作ってほしい。
- ・ うなぎの骨、わかさぎの酢漬、味噌、醤油、清酒。
- ・ 鯉、かば焼き。
- ・ うなぎの新作料理など。
- ・ 岡谷はうなぎが有名なのでうなぎはどうでしょうか。
- ・ うなぎ。まゆ人形、機織り等シルク関係。武井武雄の絵。工業技術で何か面白いものがあれば。
※岡谷は観光資源が少なく感じます。もしあったとしてもあまり認知されていないと思います。
- ・ うなぎは友達がきたときにすすめています。
- ・ うなぎ、スケート、ボブスレー、きのこ、山菜取り。
- ・ ①うなぎ、②由布姫、武田勝頼、社の神の桜：洩矢神社のパワースポット、蚕糸、武井武雄など岡谷の魅力を集めた体験型美術館③諏訪湖を臨む親水型公園の充実。
- ・ うなぎはむずかしくなっていく様な気がして。ジビエ料理はどうでしょうか。
- ・ うなぎ関係の食物、B級グルメなど。
- ・ うなぎ、軍手。
- ・ わかさぎ。野沢菜の漬物。
- ・ 思いうかばないが絹を使った雑貨や味噌。
- ・ 各家庭で作る漬け物、浅漬け、素朴なお菓子（昔からあるおばあちゃんの作るおやつなど）、出早神社
- ・ 塩丸イカの料理など。
- ・ わかさぎの佃煮や天婦羅等のおいしさの提供。他県の湖のわかさぎには殆んど脂質や旨味がないが諏訪湖のわかさぎにはある。
- ・ 凍豆腐、エゴマのもち、のたもち。
- ・ ヒカリゴケ（唐櫃石古墳）。
- ・ おいしい水（無料）、五平もち。
- ・ イナゴ佃煮はマイナスイメージ（時代がちがう）だと思うので、売らない方が良い（市民が食べることは良い）。
- ・ 日本一の味のリンゴのPRを行政とともに大いに力を発揮を。諏訪湖の浄化。中部観光都市化を、特に岡谷方面の美的感覚を望む。散歩中に休息できるようにベンチがほしい。諏訪湖に浮草が繁殖しすぎている。諏訪湖周辺に桜を植えてほしい。次世代のためにも信州の大自然を世界に誇れる郷里づくりを行政が発揮してほしい。
- ・ 鯉のうま煮。
- ・ フナのスズメ焼き。
- ・ 太鼓。

- 太鼓まつり。
- 岡谷太鼓、合唱。
- 太鼓まつり、キツネの嫁入り等参加者が限られる。一般市民が参加できる祭りが望ましい。
- 岡谷太鼓、ホテル。
- 太鼓まつり。
- 旧中仙道、下辰線⇄R20。
- 塩嶺御野立公園をもう少し利用できるようにしてほしい。ゴミ焼却の熱を利用して広い浴場など作ってはどうか。
- 今、工場見学がブームになっていますが、岡谷の企業でもそうした企画が沢山あればいいと思います。
- 屋内スケート場を積極的にPRしてほしい。
- スケート。
- 子どもの職業体験を主にしたものづくり。
- 観光フォーラムがある事は知らないが、御柱で出される郷土料理を知ってもらえるのはどうですか。他の市や県外との比較や共通点をアピールするのもおもしろいと思います。一般的なPRとしては、映画、ドラマのロケ地を紹介すれば知ってもらえると思います。他、工業体験。
- 太鼓まつりが一部の人間だけのものになっているので、もっと市民が取り組めるものにしてほしい。太鼓保存会にもっと岡谷市民がからめる様にしたいと思う。
- 悲しい事です、岡谷市は〇〇というものが思いあたりません。観光も食べ物も。すべて、近くの市町村に頼っているだけという感じです。「岡谷」も知らない人が多いから、遠くへ行った時、「諏訪から来た」とつい言っています。観光に今さら力を入れてもと思います。
- 岡谷はインターチェンジがあり集客できる拠点でもあり、その有効活用としてやまびこ公園を全国的にもっとアピールしてもよいのではないかと思います。それとスケートとあいまってもうひとつ何か目玉となるようなものを近くにほしい。
- 残念ながら、岡谷には観光資源とするものが無い。私も外から来る客様にうなぎをごちそうするが、考えて見ればそれもごく一部の業者の宣伝に過ぎず残念だ。岡谷は多聞に観光には向いていないため、新たなものづくりあるいは、思い切ってベッドタウン化を考える等、考え方を考える必要がある。ここ数十年取り組み進めていたものを市職員も議員諸氏も考えてみてほしい。なぜ大きな企業に逃げられたのか。なぜ大型デパートに逃げられたのか。なぜ人口（世帯）が減少したか。なぜドイツ村。大学。そんな発想に向いてしまったかです。
- ①被災地の子ども、親を対象に林間学校などをやったらどうか。②都会の子どもを対象に体験学校をしたらどうか。講師、先生は高齢者（経験者）に依頼する。→高齢者対策。③岡谷市の自然を売りにする。→他に特になし
- 身近に感じるものを考え、注目してもらいたい。
- 各学校（学級、学年の単位でも）で、岡谷の魅力のPRに向かって課題を立案し、その取り組みや成果を見てもらえるのはどうか。「岡谷」だけでの取り組みでなく、諏訪湖周の全ての地区での取り組みにできませんか。岡谷を起点に諏訪湖一周の①寺、大社めぐり②美術館めぐり③うまい店めぐり④温泉めぐり etc
- 岡谷市へ来て 20 年になりますが、観光的なものが少ないことをとても残念に思います。
- 今の岡谷には、これといってPRできる物が無いのが大変残念でなりません。